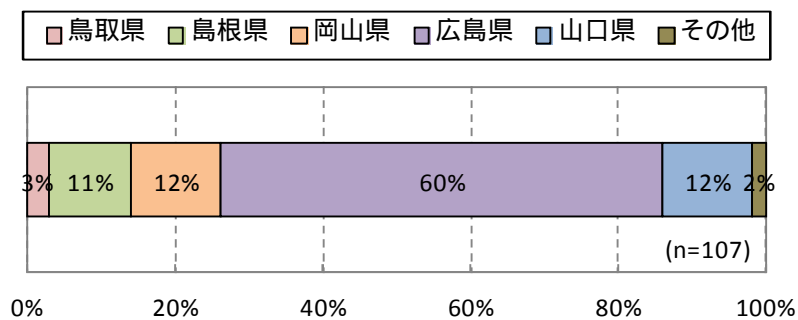


アンケート調査結果

【問1】参加者の属性について

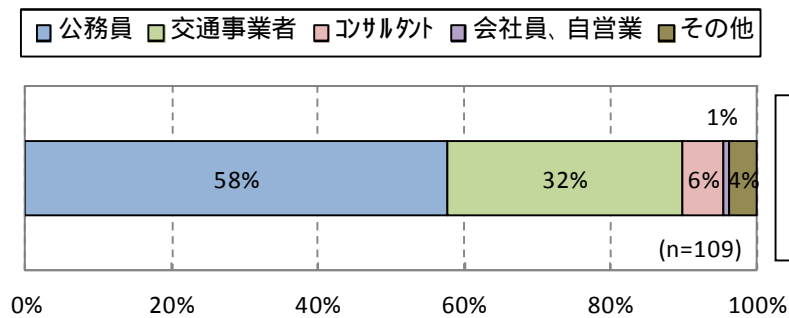
(1) 住所

中国5県からの参加が98%を占めており、開催地である広島県からの参加者が60%を占めている。



(2) 職業

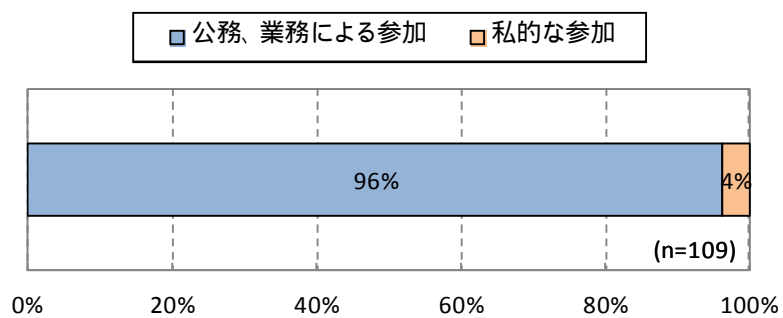
参加者の半数以上が公務員である。次いで交通事業者の割合が高く、32%を占めている。



(その他)
・市議会議員(1)
・自治会役員(1)

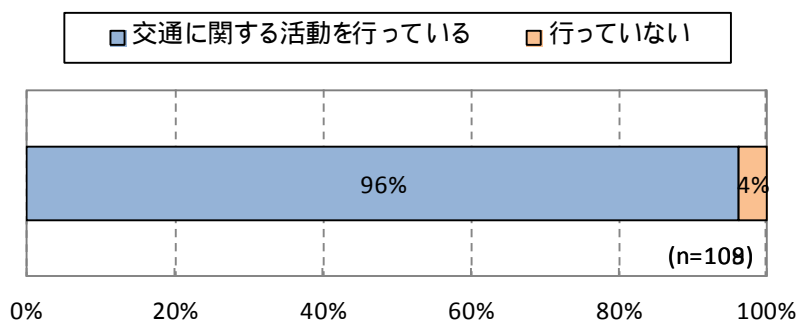
(3) 公私の有無

参加者の大半（96%）が公務、業務による参加者である。



(4) 交通に関する活動

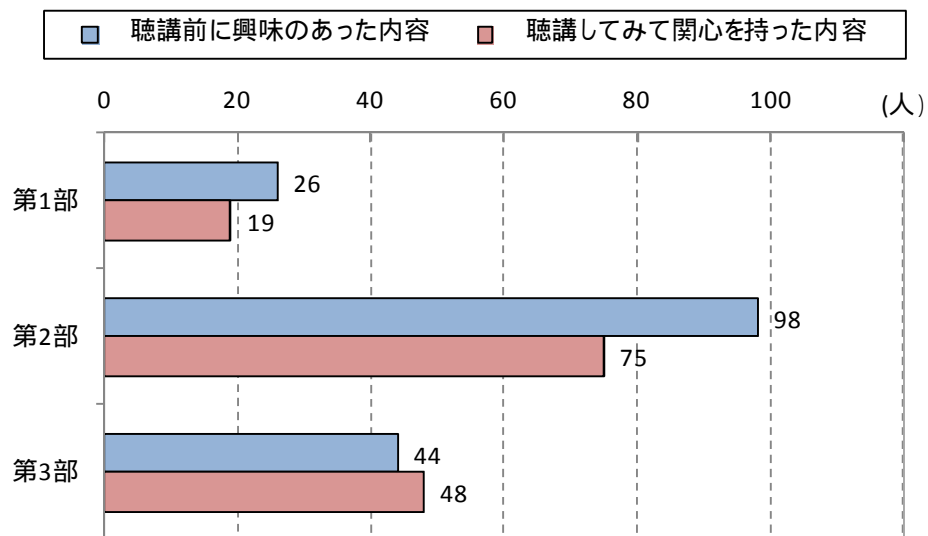
参加者の大半（96%）が交通に関する活動を行っている。



【問2】聴講前後による興味、関心度について

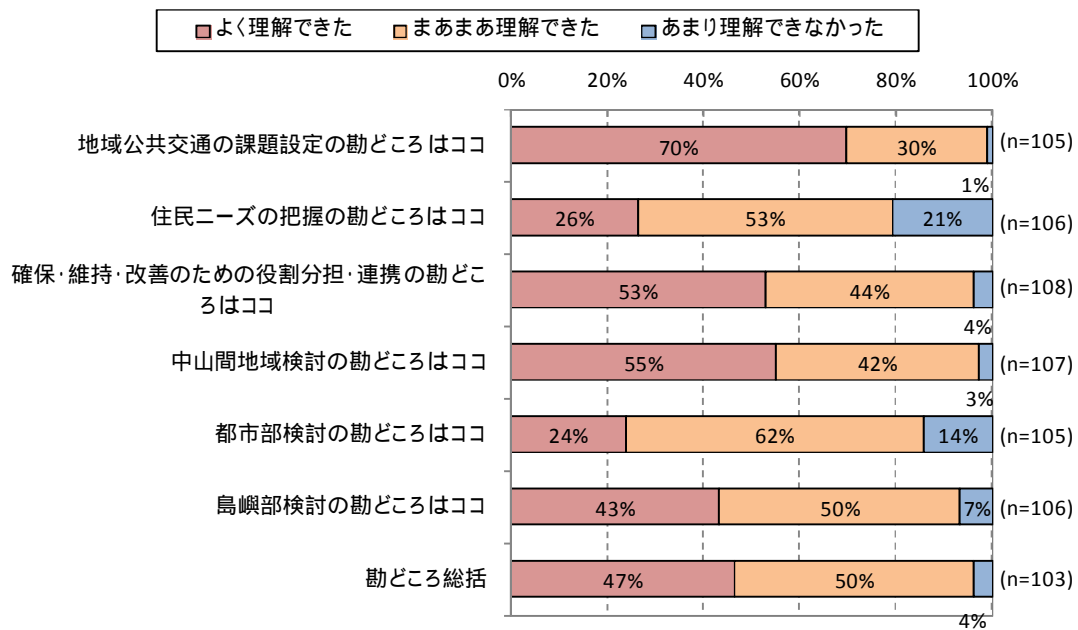
聴講前に興味を持っていた内容で最も回答が多かったのは、「第2部 学識者によるリレー講義」である。また、聴講してみて関心を持った内容で最も回答の多かったのも第2部である。

「第3部 パネルディスカッション」は期待を上回る評価を得られた。



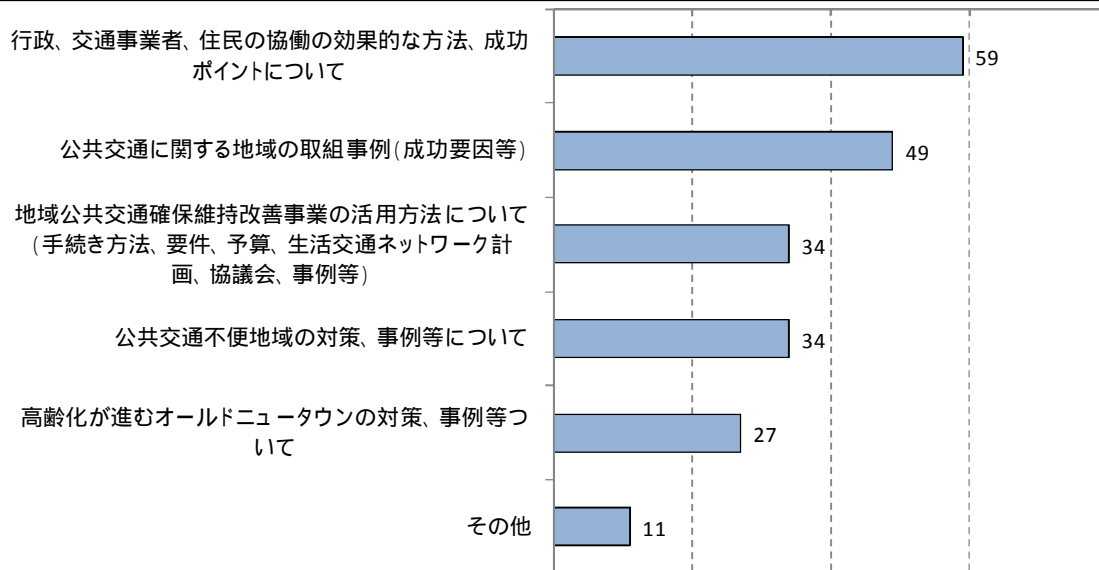
【問3】学識者のリレー講義の理解度について

各講師の講義について理解度を聞いたところ、大半が「よく理解できた」、「まあまあ理解できた」と回答している。ただし、「住民ニーズの勘どころはココ」(地域公共交通の必要性)、「都市部検討の勘どころはココ」(都市部の公共交通計画)については「あまり理解できなかった」と回答した人の割合が他と比較して高い。



【問4】今後開催して欲しい講習会、シンポジウムの内容について

最も回答が多かったものは「行政、交通事業者、住民の協働の効果的な方法、成功ポイントについて」である。次いで「公共交通不便地域の対策、事例等について」と回答した人が多い。



(その他)

- ・失敗要因を中心に事例発表は無理ですか
- ・公共交通に関する地域の失敗事例
- ・地域公共交通活性化事例 成功事例のフォローアップ補助が切れたあともうまく回っているか？失敗事例から学んだこと。一般市民への公共交通の興味の持たせ方(手法)、利用の誘導法・セミナー・講演へのうまい参加のさせ方。
- ・モード別の研究発表があれば良いと思います。モード バス、鉄軌道、船など
- ・海外の公共交通不便地域の事例
- ・公共交通と交流人口及び観光客へ向けて学者の考え方を聞きたい
- ・実際、実行レベルでのサポート、助言、協稼に取り組める機会。(結果を次回のシンポジウム的な時に紹介し、PDCAする)
- ・住民負担意識の醸成
- ・人口分布データ等、行瀬が持つデータの提供
- ・定時定路線型交通の今後のあり方
鉄道(ローカル線)を維持することの意義について(代替バスとした場合のデメリットについて)...広域移動、観光。来訪者、高速移動 鉄道(特にJR)の活性化策

【問5】感想、自由意見等

有意義であった。参考になった。(24名)

普段なかなか聞くことができない学識者の意見が聞け、大変参考になりました。

学識者の方の考え、意見を聞くことができて良かった。

大井先生の話は非常に参考になった。

短時間でしたが、色々な話が聞けて良かったです。ありがとうございました。

全体的に良かったです。これだけの先生が来られる機会はないですね。

実用的でためになるものが多く、勉強になった。聞いていておもしろいものばかりだった。

意義あるシンポジウムでした。大変勉強になりました。

運輸局のセミナーによく参加しておりますが、学識の方が通常だと1人が2人です。この方式だと一度に聞けるので、情報が整理でき、一度の出張で効率が良いです。

若手の研究者を登用したのは大変良かった。

いろいろ考えるきっかけになりました。ありがとうございました。

内容についてはとても参考になりました。

それぞれの個性のある講師の方々の講義がきけて貴重な時間でした。

ディスカッションは意外にためになり楽しかった。

パネルは論点が整理されていて大変参考になった。

リレー形式の講演、テンポよく盛り沢山に貴重なお話が聞けました。

リレー講義では、行政、事業者、利用者の課題、公共交通を取りまく環境等各講師の方から説明があり、現況の本市の課題を整理するのに活用できる内容でした。

リレー講義とパネルディスカッションとの内容に関連した事項を議論することを聞くことができたことは、非常にわかり易く、講義内容を理解することができ、良かった。一部問答にズレが見られたが、

パネルディスカッションの内容が非常に良かった。コーディネーターがすばらしいリードをされた。

都市部交通・船(離島)について、イングランドとの比較はあまり取り上げられないので新鮮でした。パネルディスカッションは様々な先生の意見がきけて内容も濃く、とてもよかったです。

公共交通の行政担当者として日々の業務に追われて忘れがちになる公共交通のあるべき姿やよりよくすることを思い出し、初心に帰るためにも大変有意義なシンポジウムでした。

さまざまな話がきけてとても参考になった。交通初心者にとってはあまり深掘りされても理解できないので今回のような話でよかった。

全体的には大変満足しました。

多彩な顔ぶれの先生方による内容の濃いシンポでした。おもしろかったです。塚井先生の最後のつなぎ方はすごいと感じました。全体がうまくコーディネートされたレベルの高いシンポだったと思います。

プレゼンの勉強にもなった。自分の自治体の公共交通の成熟度(レベル)位置付けが確認できた。

1人当たりの講義の時間が短い。講師の人数を減らしてはどうか。(24名)

1部・2部ともかけ足での説明だったので残念。

リレー講義の内容が多岐に渡っており、時間が短すぎました。もう少し絞って話を聞きたいと思いました。

先生一人の持ち時間が少ない。

多彩な講師陣のリレーで様々な話が聞けたのは良かったが、もう少し、じっくりお話を伺えとなお有意義だと感じました。

シンポジウムは課題を掘り下げて話して頂きましたのでよくわかりました。全体的にリレー講義を含め時間が少なくもう少し深く聞きたいと思うところもありましたので、午前中から始まって良かったかと思います。

それぞれ、もう少しじっくり聞きたいと思いました。

各講師の待ち時間が少なく言い足りない点があったように感じた。深く理解するためには、講師を少なくし一人当たり30分程度はあった方が良いのでは...

学識者によるリレー講義は内容的にも幅広く興味深いものでしたが、時間的にももう少し余裕があれば、もっと良かったと思います。

多くの先生が来ていたので、時間が少し不足していたように感じます。

講義時間にももう少し(もう5~10分)時間をとっていただければ、つっこんだ内容が聴けたかと思う。

講師の人数をもう少ししぼってはどうか。

時間が限られており、ゆっくり話が聞けなかったのが残念でした。

1人15分は時間的に厳しいと思う。人数を絞るか、テーマを絞って話していただくと理解が深まったのではないかと思う。

リレー講義7本各15分はもったいない。モードを絞って各30分くらいの講義が必要です。

リレー講義の時間が少なすぎる。

リレー講義は良かったのですが、ちょっと人数が多いですね。ここがすっきりすれば、もっとまきやすいシンポジウムになったのでは。

ボリュームがあるので半日ではなく、一日のスケジュールでもう少し詳細な話が聞きたかった。本省廣田さんの話がはやかった。リレー講義は時間が短かけ足でわかりにくかった。もっとじっくり話をききたかった。

リレー講義について時間的制約があるにしても一人15分はあまりにも持ち時間がすくないので

<p>はないでしょうか？あと5分程度(一人当たり)延長すれば講義がしやすかった(聞く方としては、理解しやすかった)のではないかと感じました。</p>
<p>リレー講義の講師の講義時間が短かすぎる。(講師が多すぎるのでは)</p>
<p>リレーポイントをしばっていただき、お一人あたりの持ち時間を増やしてほしい。短時間なので、説明が早口に及び速い展開になり理解しにくい部分があった。</p>
<p>もう少し深く掘り下げて内容を確認したいと感じた。ポイントを少し絞ったプログラムでもいいのではないか。</p>
<p>短時間で多くの先生のお話が聞けたのは大変良かったが、できれば一人15分ではなく20~30分とって4、5人の先生にするくらいでもよかったかも。時間が少なく、もっと色々ききたいこともあり少しもったいなかった。</p>
<p>リレー講義少し長いような気がしました。5人ぐらいが適当ではないかと思う。質問を付箋紙に書かせる時間、もう少し欲しいです。</p>
<p>今後も定期的で開催してほしい。(7名)</p>
<p>ぜひ来年も実施してほしいです。</p>
<p>地元レベルでは、このように機会がないので、継続して開催して頂きたいです。</p>
<p>2013があることを期待しています。</p>
<p>内容も良かったので次回に期待しています。</p>
<p>定期的で開催していただくことを希望しています。会場も快適でした。</p>
<p>今後も継続的に開催されることを期待します。</p>
<p>今後も定期的で開催し、勉強や情報収集の貴重な場としてもらいたい。</p>
<p>全体の時間が長かった。(2名)</p>
<p>大変密度の濃い内容で有意義だったのですが、1部と2部が連続していたため長いという印象がありました。</p>
<p>終了時間厳守。また時間設定が長すぎる？17:10終了はおそいかも。集中力に欠けてきます。</p>
<p>その他(10名)</p>
<p>各自治体レベルで運搬事業者ヒアリングを実施しその取り組みをシンポジウム等で発表していただき、シンポジウムを通じ公共交通の活性化につながる意義のあるものになれば幸いです。</p>
<p>学職経験者のみでなく、行政、利用者の声も聞いてみたい。</p>
<p>行政のなかで公共交通の専門家(部署)の必要性を痛感しました(してます)。</p>
<p>交通事業で成功された事例の方を講師にしてもらえたら伝わるのも大きいのでは？</p>
<p>実際の現場に入っている先生方の生の声と専門としている人々が本音でどう思っているのかを伺うことができたのが大きかった。自分たちではなかなか現場に入る機会がない。特に新規で取組を始めようとしている方はどうだろうと思う。新たに取組を始めたいなどの自治体にとって</p>

は運輸局とのつながりが大事。こういう場(もっと小規模なものを含めて)において運輸局と自治体の距離がもっと近くなるのが望ましいと考えています。

地元、中国地方にこれだけ大勢の若い先生が、地域交通の研究をされているとは知りませんでした。大井先生から、バス事業者の運行管理のノウハウはすごいことだと知られていないと言われていましたが、日々の運行に追われている我々バス(タクシー)事業者も、先生方から事業者の役割について、もっとじっくりお話を聞きたいものです。本日はありがとうございました。(今、過疎地のタクシーは廃業の危機！路線バスやツアーバスの新高速バスへの移行で、いよいよ料金競争の時代になります。)

住民や交通事業者を交えたパネルディスカッションがあれば良いと思います。大井先生の話はやはり偏りを感じてしまいます。(本シンポは大変勉強になりましたが…)いろんな立場からの話を聞いて参考にしたいです。

全体的に学問チックで事業者とはあまり活用できないものであった。今回のシンポジウムは何の為に何を対象にしているものか理解できないものだった。この議論をくりかえしても前に進むのであろうか。

年々バス利用者が減少していく中、補助金を頂きながら運行している実情である。今後、より一層の利用促進策を講じなければ地域交通を全て失う。事業者側の経営努力も限界に来ており、今回の各先生方初め、関係行政機関で「まちづくり」に合わせ交通体系を早急にご検討願いたい。

難解する話が多い。

「中国地方における地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム 2012」アンケート

本日は、お忙しい中「中国地方における地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム 2012」にご参加頂きましてありがとうございます。

今後、地域公共交通のあり方を考えていくための参考とさせていただきますので、アンケートのご協力をよろしくお願いいたします。

【問1】ご自身についてお聞きします。

①住所	() 県 () 市
②職業	1. 公務員 2. 交通事業者 3. コンサルタント 4. NPO 5. その他会社員、自営業（パート、アルバイトを含む） 6. 主婦・主夫 7. 学生 8. 無職 9. その他（ ）
③公私の有無	1. 公務、業務による参加 2. 私的な参加
④交通に関する活動	1. 交通に関する活動（公務、業務、研究等）を行っている 2. 交通に関する活動は行っていない

【問2】シンポジウムの内容についてお聞きします。（該当するもの全てに○をつけてください）

①聴講前に興味があった内容	1. 第1部 報告 2. 第2部 学識者によるリレー講義 3. 第3部 パネルディスカッション
②聴講して興味を持った内容	1. 第1部 報告 2. 第2部 学識者によるリレー講義 3. 第3部 パネルディスカッション

【問3】学識者によるリレー講義について“勘どころ”は理解できましたか？

	た よ く 理 解 で き た	ま ま あ ま 理 解 で き た	あ ま り 理 解 で き な か っ た
① 地域公共交通の課題設定の勘どころはココ！！	3	2	1
② 住民ニーズの把握の勘どころはココ！！	3	2	1
③ 確保・維持・改善のための役割分担・連携の勘どころはココ！！	3	2	1
④ 中山間地域検討の勘どころはココ！！	3	2	1
⑤ 都市部検討の勘どころはココ！！	3	2	1
⑥ 島嶼部検討の勘どころはココ！！	3	2	1
⑦ 勘どころ総括！！	3	2	1

⇒裏面にお進みください

【問5】 今後、開催して欲しい講習会やシンポジウムの内容についてお聞きします。

(該当するもの全てに○をつけてください)

1. 公共交通に関する地域の取組事例（成功要因等）
2. 地域公共交通確保維持改善事業の活用方法について（手続き方法、要件、予算、生活交通ネットワーク計画、協議会、事例等）
3. 公共交通不便地域の対策、事例等について
4. 行政、交通事業者、住民の協働の効果的な方法、成功ポイントについて
5. 高齢化が進むオールドニュータウンの対策、事例等について
6. その他

【問7】 シンポジウムの感想等がございましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。